

【補助事業概要の広報資料】

補助事業番号 26-36
補助事業名 平成26年度公設工業試験研究所等における機械設備拡充事業等補助事業
補助事業者名 岐阜県

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

ものづくりの分野においては、ミクロンオーダー以下の精度や高い品質が年々重要になってきています。また、顧客からの異物混入などのクレームに対しては正確で迅速な対応が求められています。これらの要求に対応するためには電子顕微鏡や元素分析装置のような装置が必要ですが、いずれも高額な装置であり、中小企業での導入は困難です。そこで、当所にこれらの機器を整備し、地域の中小企業の製品開発や品質管理を支援します。

(2) 事業内容

低真空度下での試料の詳細な拡大観察や元素分析が可能な卓上走査型電子顕微鏡（EDX付き）を導入しました。本機器の導入により、金属表面の腐食物や付着油、金属—プラスチック複合体等の非導電性試料表面の拡大観察や元素分析を短時間で簡単に行うことが可能になり、地域の中小機械金属工業の製品・部品の製品開発や品質の向上・管理に寄与します。平成26年12月1日からは開放試験機器として企業の皆様に安くご利用いただけることとなりました。平成27年4月からは依頼試験としての対応も予定しています。

2 予想される事業実施効果

試作品等の表面状態や元素分布等の評価に利用でき、機械金属分野はもちろんのこと、繊維や食品等の幅広い分野において、製品の高付加価値化・差別化を図ることが可能になります。また、開放試験機器としてご利用いただけるため、製品開発、品質管理、クレーム対応におけるコスト削減が可能になります。

3 本事業により導入した設備

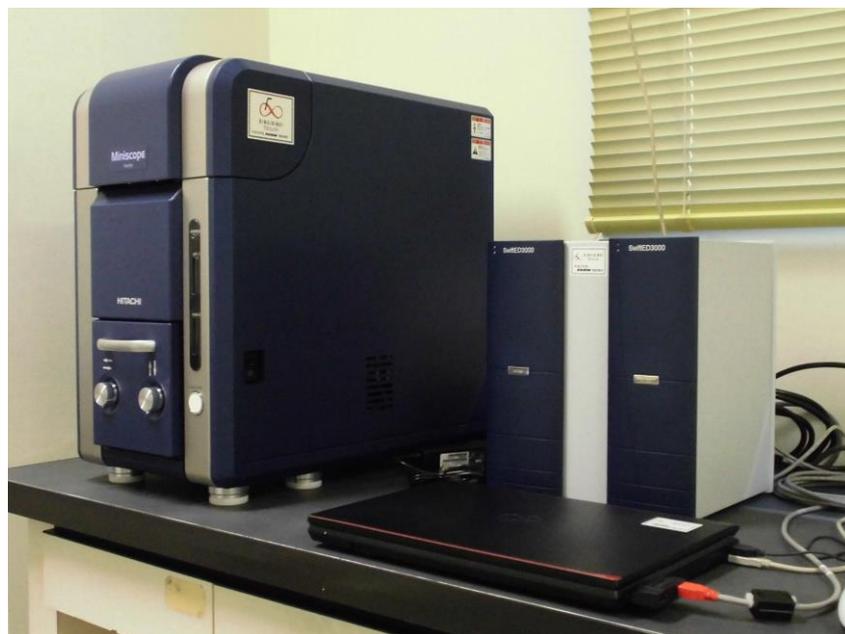
①卓上走査型電子顕微鏡

<http://www.iri.rd.pref.gifu.lg.jp/html/news/2014/news20141016.php>

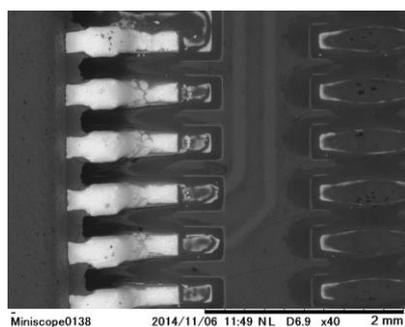
低真空度下で試料表面の拡大観察や元素分析を行う装置で、金属腐食物、付着油、金属—プラスチック複合体等の非導電性試料や、ある程度の水分を含む食品・生物試料の観察と元素分析を前処理なしで行うことができます。迅速な観察が可能な上、電子顕微鏡の操作に不慣れな人でも操作が可能で、平成26年12月1日より開放試験

機器としての運用を開始しました。

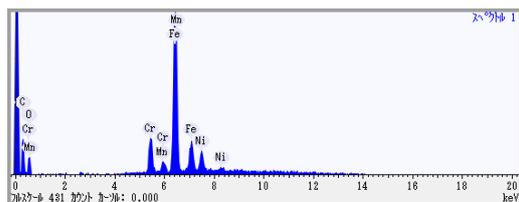
設置場所：【岐阜県産業技術センター 顕微鏡室】



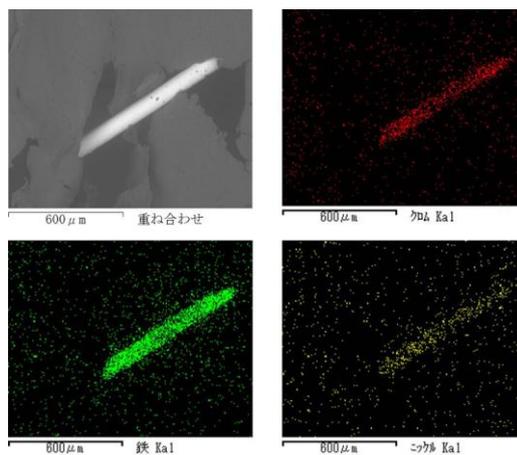
日立卓上顕微鏡 Miniscope TM3030



プリント基板 (40倍)



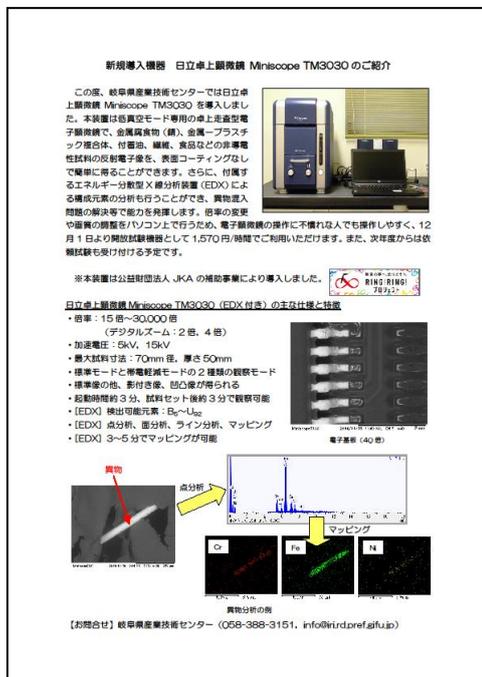
元素分析例



元素マッピング例

②本事業に係る印刷物等

紹介パンフレット (<http://www.iri.rd.pref.gifu.jp/pdf/system/system4-22.pdf>)



4 事業内容についての問い合わせ先

団体名: 岐阜県産業技術センター (ギフケンサンギョウギジュツセンター)

住所: 〒501-6064

岐阜県羽島郡笠松町北及47

代表者: 所長 河田 賢次 (カワダ ケンジ)

担当部署: 食品部 (シヨクヒンプ)

担当者名: 専門研究員 今泉 茂巳 (イマイズミ シゲミ)

電話番号: 058-388-3151

F A X : 058-388-3155

E-mail : info@iri.rd.pref.gifu.jp

U R L : <http://www.iri.rd.pref.gifu.lg.jp/>